がん種　悪性リンパ腫（びまん性大細胞型B細胞リンパ腫）

レジメン名　Pola+R-THP-CP 療法　　催吐性リスク分類　高度

番号	薬剤名	投与量	投与方法	投与時間	備考	投与日						
						1	2	3	4	5	…	21
1	ポララミン錠2mg	1錠	内服	午前中	リツキシマブ投与30分前	○	○					
	カロナール錠200mg	2錠			ポラツズマブ投与30-60分前							
2	プレドニゾロン	100mg/Body	内服	朝食後	プレドニゾロン錠５mg　20錠/日	○	○	○	○	○		
3	生理食塩液	500mL	点滴静注		ルートキープ用	○	○					
4	リツキシマブ（リツキサン）	375mg/㎡	点滴静注側管		(※)初回50mL/h～ 2回目以降100mL/h～ 1mg/mLに調製	○						
	生理食塩液	－										
5	ポラツズマブ（ポライビー）	1.8mg/kg	点滴静注側管	90-30分	初回90分、忍容性が良好であれば 2回目以降30分まで短縮可 インラインフィルター使用 72mg以下は生食50mLに混注 ※注射用水で溶解		○					
	生理食塩液	100mL										
6	アロキシ点滴静注バッグ	1袋	側管静注	30分		○						
	アロカリス点滴静注	1瓶										
7	ピラルビシン（ピノルビン）	50mg/㎡	点滴静注側管	全開	※注射用水で溶解	○						
	生理食塩液	50mL										
8	シクロホスファミド（エンドキサン）	750mg/㎡	点滴静注側管	2時間		○						
	生理食塩液	500mL										

(※) 初回：最初の 30 分は 50 mL/h → 30 分ごとに 50 mL/hずつ上げて、最大 400 mL/hまで上げることができる。
2回目以降：初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、2回目以降は100mL/hで開始し、その後30分ごとに100mL/hずつ上げて、
最大400mL/hまで上げることができる。

（次のコースまでの標準期間）　21日　　総コース数　6コース
※7, 8コースはリツキシマブ単剤

休薬規定及び減量規定、中止基準	・Grade2以上の血液毒性、非血毒性で休薬、減量を考慮 ・インフュージョンリアクションで速度調整を検討
その他	